

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>現状、ずっと子どもが減っている。このまま学校の統廃合を行えば、子どもたちはどんどん遠くまで通学しなくてはならない。市として、人口を増やす取組みを行っているのか？</p>	<p>人口を増やす取組みを行うべきとの意見には同意するところである。教育委員会としては市の取組みについて言及する立場にないが、柳川市も人口増のためのプロジェクトチームを作り、子育て支援や企業誘致政策などの取組みを行っている。しかし、日本全国で人口が減る中で、先に挙げたような取組みはどの自治体でも行っており、自治体間で人の取り合いをしているような状態である。教育委員会としてできることは、学校規模を整え、教職員集団を確保することで教育環境を充実させ、今いる子どもが通いたい学校、保護者が通わせたい学校を作っていくことである。現在の複式学級になるかもしれない学校規模では難しい。現状に合わせて学校を再編し、教育効果を上げることが大切であると考えている。</p>
	<p>合併後、旧大和町地区から人口が減っており、自分たちと同世代が地元に戻ってこない状況である。学校の統廃合により地域の過疎化が一層進むのではないかと？</p>	<p>小学校がなくなることで、地域が寂れていくのではないかと心配はよく分かる。引き続き、住みやすいまちづくりを目指し過疎対策も行っていきたいが、先ほど言ったように、急激に効果を上げるのは難しい状況である。教育委員会としては、この学校に通わせたいという学校を作っていくことで、人口減を食い止め、市外の方からも選んでいただけるような魅力ある教育環境を作っていきたいと考えている。なお、今回、説明会の中で出たまちづくりに対するご要望等については、今後、庁内関係会議できちんと情報共有していく。</p>
2	<p>5月11日の新聞に、教育長の「地域の実情を受け止め、保護者の意に沿う再編を行う」との発言が掲載されており、議会だよりによれば、課長は、パブリックコメントを実施し9月下旬に計画を決定すると発言している。パブリックコメントの結果を市報や議会だよりに掲載して地元で周知して欲しい。</p>	<p>もちろんパブリックコメントでの意見は、それに対する教育委員会の回答と併せて公表する。市報に全てを掲載するのは難しいと思うが、チラシやウェブサイトによる公表などで対応したい。</p>
	<p>再編協議会について、一般の保護者からの意見を吸い上げることができるといえるような組織を設置して欲しい。地域に対し行政の一方的な意見を押し付けることがないようにしていただきたい。</p>	<p>当然広く意見を吸い上げるような形を考えている。また、協議会だよりといった形で、協議会で検討した内容を地域の方々にフィードバックする対応を考えている。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
2 つづき	<p>現中島小は、住宅密集地に建設された学校であるため、周辺の道が狭く、スクールバスや緊急車両、保護者の送迎などを考えると対応しきれないのではないかと？車の迂回路や待避場所もなく、渋滞の発生が懸念される。また、700人近い生徒が現中島小に入るのかという問題に加え、校舎の築年数や耐震補強、各教室の整備、体育館、運動場等の整備はどうなるのか？また、駐車場の確保、周辺道路や通学路の交通事情、ガードレールやグリーンベルトの整備状況、運転車や歩行者に関わる看板設置などはどうなるのか？周辺に空き家が多ければ子どもたちが犯罪に巻き込まれることも考えられる。様々な事項を検討していただきたいが、協議期間が短い。</p>	<p>中島小の校舎整備について、耐震補強は完了しており、特別教室等を改修することで教室数は確保できる見込み。周辺環境の整備についても、必要な事項については、中島小へ統合することが確定した後にきちんと検討したいと考えている。</p>
	<p>学校が大規模になることによる保護者や子どもたち、また教職員の精神的負担は計り知れない。小規模校で学ぶ生徒が突然大人数と交流することで、いじめや不登校等の問題が出てこないか？自分としては、校内の見回り隊も必要だと思う。</p>	<p>学校の規模が大きくなることでのいじめや不登校等の問題への懸念についてだが、まず、冒頭の説明にもあったように、私共は恒常的にクラス替えができる学校を目指している。ご自身の小中学生時代を思い出していただくと分かるように、クラス替えによって交友関係が広がり、一方でそれまでの友人と疎遠になることもあるなど、クラス替えは様々な交友関係を構築する良いきっかけとなっていたのではと思う。少人数の学校にも確かに良い面はあるが、将来のことを思えば、発達段階に応じて大きな集団の中で交流し、社会性や協調性を身につけることは非常に大切である。学校規模が大きくなることがいじめや不登校に繋がるかという点、一概には言い切れない。充実した交友関係の中で、自分を支えてくれる友達を見つけられる可能性も十分に考えられる。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
2 つづき	義務教育学校について、資料に「早い段階から先を見据えた学習」とあるが、高水準の教育を受けられるように感じる。旧大和町地区でも義務教育学校へ再編できないか？	<p>(学校教育課長)まず、旧大和町地区における義務教育学校への再編についてだが、現大和中を義務教育学校として整備する場合は、小学校部分の用地確保が問題となる。また、通常学級で27クラスほどになり、さらに特別支援学級の教室数が見込まれ、学校規模がやや過大である。対して、現在、義務教育学校への再編を計画している蒲池・昭代校区の場合は、他の校区との統合が位置的に難しいことに加え、小・中学校が隣接しており、再編後は施設の改修で対応が可能である。以上の理由から、現大和中校区と現三橋中校区との統合により学校規模を適正化する案を策定している。</p> <p>(首席指導官)一般の小中学校としての統合は、同学年の人数を増やして、横の広がりを作る再編である。一方、義務教育学校では、横の広がりを作れない小規模校において適正規模を実現するため、9学年という縦の広がりを作る再編である。どちらも、ゆたかな人間性や社会性、協調性を育てるためのもので、教育内容においてどちらが優れているということはない。</p>
3	<p>学校再編協議会の人数は？また代表者の選出方法と、会議の頻度を知りたい。</p> <p>部会は何個くらいになるのか？</p>	<p>具体的には未定であるが、参考にしようと考えているみやま市の桜舞館小の場合を例に挙げると、1校あたり保護者から3名、教職員から3名、地域住民から3名で、4校統合なので9人×4校で36名での組織であった。また、再編協議会(仮称)では、それぞれ意見を持ち寄って、校名を検討する部会、制服の部会、通学方法の部会等に分けて協議を行うことになると考えている。会議の頻度については、協議期間と検討事項の数に応じて決まるため、旧大和町地区においては精力的な開催が必要だと考えている。</p> <p>これもみやま市の事例だが、総務、施設、組織、学校運営の4つの部会が組織されていたとのこと。例えば、組織部会ではPTA活動の在り方等を協議し、学校運営部会では事前交流活動や開校記念事業等に関する協議を行ったようだ。基本的にはこれを参考にしたい。</p>
4	再編はやむを得ないと考えている。中学校への通学は徒歩又は自転車とのことだが、現状では通学路の整備が不十分であり、歩道が狭い箇所、ない箇所がある。中学校周辺の環境整備に関する考えはどうか？	統合中学校の予定地に現豊原小を考えているが、周辺の用地を確保、拡張した上で、新設することになる。現在の計画は案の段階であるため、上手いかないようであれば近辺に用地を確保する可能性もある。その中で学校へのアクセスをどのように整備するかについては、今後検討を進めたい。また、道路整備については、それぞれの道路管理者と協議を行っていくことになるが、すぐに歩道を作る、また道路拡幅を行うという対応は難しい。具体的な計画はまだないが、児童生徒が多く通行する箇所の整備を優先し、安全確保に努めていきたい。また、開校後も、安全対策協議会等で継続的に対応を図りたいと考えている。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
5	コンパクトな再編として、まず3校ずつまとめ、豊原小跡地に中学校の建設を急ぎ、その後統合するのはどうか？諸問題が軽減できると思う。中島小周辺は道が狭く、送迎車両での渋滞が懸念される。六合小でも毎日20台くらい送迎車両が来ている。検討してもらえないか？	今回、学校再編計画案の説明を行う中で、組み合わせに関する案はいくつか頂いている。こちらについては全て持ち帰り検討する。
	旧三橋町地区での説明会では、大和中と統合する案に関する意見が出たか？	大和中と三橋中の統合中学校に対しては、通学区域が広いことで、通学時間が長くなることを不安視する意見がいくつか出ている。